

令和5年度第2回十和田市外部評価委員会 当日質疑等一覧表

①インバウンド対策

質問事項等	回答
現在、休屋のホテル等の古い建物を解体していますが、跡地に新しいホテルを誘致するなど、考えていますか。	市としては考えていませんが、環境省の宿泊施設を誘致するモデル事業の候補地に十和田湖地域が選定されました。整備方針をこれから決めるということで、市としてどのように参画できるのか検討していきたいと考えています。
QRコードの設置に関して、十和田湖周辺及び奥入瀬溪流内では、Wi-Fi環境はなく、携帯電話のレスポンスだけですか。QRコード設置場所の19か所の中で通話すらできない場所はないですか。	Wi-Fi環境はありません。通話については、キャリアによっては、繋がりにくい場合がありますが、まったくできない場所はありません。
滞在時間と消費額についてデータとして測定したものはありますか。	1人あたりの消費額について、令和5年度は2万5千円を目標値としていますが、現状値は2万3千円程度となっています。 【訂正】 1人あたりの消費額について、令和5年度は2万6千円を目標値としていますが、現状値は2万3千円程度となっています。
資料20ページに記載している調査協力のあった宿泊施設は何か所ありますか。また、どのような基準で選定していますか。	調査は当市で把握している34施設へ依頼していますが、協力いただいている施設数は19か所です。
25か所のベッドの稼働状況等は把握していますか。	市では把握していません。 【補足説明】 宿泊事業者からは、稼働状況のデータは営業上提供をすることができないとのことから、把握は難しいと考えています。
資料17ページに記載のガイドの人数について、どのような方をガイドとして定義していますか。	奥入瀬溪流、十和田湖のガイドに限らず、ボランティア活動をしているガイド団体を対象に調査したものです。
当市を訪れた外国人観光客の感想等は把握していますか。	市では把握していません。 【訂正】 十和田奥入瀬観光機構でアンケート調査を行っています。ただし、令和2～4年度については、コロナ禍により外国人観光客については、測定できていません。
食の満足度については把握していますか。	市では把握していません。 【訂正】 十和田奥入瀬観光機構で実施したアンケート調査結果では、約88%の方が満足であると回答しています。
資料24ページに記載している十和田地産食コンテンツ造成事業の具体的な内容を教えてください。	主にニンニクや長芋といった地元食材を活用した各店舗の周遊マップ等を作成し、食のインバウンド対応をするものです。その他、長芋等の収穫体験、南部弁講座など地域の体験を充実させる内容も予定しています。

<p>Wi-Fiを増設する計画はありますか。</p>	<p>奥入瀬溪流の利活用を検討する協議会において、整備が必要であるという意見があり、今後、県等の関係団体と協議しながら、整備に向けた取組を支援していきたいと考えています。</p>
<p>人手不足に関して、人材確保等の取組があれば教えてください。</p>	<p>民間事業者の取組に期待するところですが、市としても何かできるものはないか調査研究していきます。</p>

令和5年度第2回十和田市外部評価委員会 当日質疑等一覧表

②地域子ども・子育て支援

質問事項等	回答
<p>一時預かり事業について、家庭での保育が一時的に困難となった乳幼児とは、具体的にどのような状態がありますか。 また、資料17ページに記載している一時預かりの見込みに対して、実績が大きく上回っているが、現状の施設で十分であると判断した理由を教えてください。</p>	<p>一時預かりについては、親が急遽仕事になってしまった、出かせなければならなくなったなどの様々な理由があります。 実績については、新たなサービス利用者が増えるというよりも、元々サービスを利用している人がそのまま延長している部分が含まれているので、施設では対応可能との判断から見直しは行っておりません。</p>
<p>地域子育て支援拠点事業について、新型コロナの影響で令和2～4年は利用者数が少ないが、事業費が増えている背景を教えてください。</p>	<p>事業費については、国の単価上昇によるものです。 また、事業費は、利用者数に関わらず、開設日数に応じたものとなります。</p>
<p>ふれあい保育事業を含め、年度別に施設数が異なるが、助成は施設からの申請によるものですか。</p>	<p>障害のある児童を受け入れた場合、補助金の対象となるが、子どもたちの入れ替わりがあるため、年度によって施設数に変動があります。</p>
<p>延長保育事業について、利用者数は減っているが、補助金が増えている理由を教えてください。</p>	<p>事業費は利用者数に関わらず、延長時間に応じたものであり、国の単価の上昇により増額となっています。</p>
<p>医療的ケア児保育支援事業について、委託先が1件、対象者が1人であるが、委託料が増えているのは、国の定めによるものですか。</p>	<p>通常医療的行為が必要な方が利用するものであり、看護師や専門的な研修を積んだ保育士の人件費が含まれているため、対象者数に関わらず委託料が増えています。</p>
<p>医療的ケア児保育支援事業は施設が増えた分、委託料が増えるものですか。</p>	<p>施設ごとに必要な人員を配置することから、委託料は増加します。</p>
<p>延長保育事業について、令和3年度と4年度を比べると、利用者数が約5,200人減っているが、補助金額が増えている理由を教えてください。</p>	<p>事業費は利用者数に関わらず、延長時間に応じたものであり、国の単価の上昇により増額となっています。</p>
<p>ファミリー・サポート・センター事業について、委託先が令和4年度の三徳会から、令和5年度は代わったと聞いているが、三徳会が撤退した理由はありますか。</p>	<p>業務内容として送迎が多く、事故のリスクなどの負担増により、引き受けてくれる支援員が少なくなったため、受託することが難しい状況となったものであります。</p>
<p>三徳会で働いていたスタッフを委託先が受け継いだ形はありますか。</p>	<p>会員を継続できる方については、委託先に引き継いでいます。また、新規会員の募集も進めています。</p>
<p>現時点での利用者の状況は、昨年度と比べてどうですか。</p>	<p>直近の数値は確認していません。昨年度から運営主体が代わったので、登録はしていても、利用していない会員もいる状況であり、昨年度よりは少し減っているものと推測しています。</p>

<p>子どもたちが住み続けたい環境を整備して、今いる子どもたちを支援していくことが重要です。 なお、外国人に住んでもらい、子どもたちを増やしてもらい、十和田市は良いと思ってもらうために、市として将来的な考えはありますか。</p>	<p>子どもの支援体制については、今年度から子ども家庭庁が設置されており、国においても今後の子どもの支援に関する方策の検討を進めているところであります。また、県においても同様の動きがあります。 当然、市としても、国・県の動向を踏まえながら、今よりサービスが下がらないよう、その時々状況を的確に捉えた上で、支援策を検討していきます。</p> <p>【補足説明】 子育て支援は、国籍を問わず、切れ目なく行う必要があることから、外国人のニーズも把握しながら子育て環境の充実を図ります。</p>
<p>病児保育事業について、利用者の病気の症状や度合い、預ける理由として仕事が一番多いのか教えてください。</p>	<p>通常の風邪やインフルエンザによるものです。預ける理由は、仕事が多く、7時半から受け付けているので、仕事に間に合うように預けていくという状況となっています。</p>

令和5年度第2回十和田市外部評価委員会 当日質疑等一覧表

③中央病院の医師確保

質問事項等	回答
医師が十和田で働くかどうかの判断基準はどういったものがありますか。賃金もポイントになるのですか。	地方公務員として採用となるので、賃金については、給料表に基づいての支給となります。勤務地の判断基準としては、派遣元の大学の考え方もありますが、医師同士の情報交換によるものも多いと考えます。
医師の住宅の借上げについて、無償で提供しているということでしょうか。	無償ではなく、面積、築年数を計算して公舎料をいただいています。
研修医の県内・県外出身の状況はどうなっていますか。	ここ数年は弘前大学から研修医を受け入れており、県内出身者が多い状況となっています。一方、東北大学から派遣していただいている先生は、県外出身者が多い状況となっています。
医師の残業時間数はどういう状況ですか。	多くは年間960時間以内の勤務時間外ですが、一部にはそれを超えている診療科もあります。
資料11ページに「医師確保のためあらゆる手段の模索」とあるが、医師斡旋会社等以外で活用しているものはありますか。	医学生への説明会に研修医とともに積極的に参加し、説明を行っています。 【補足説明】 上記に加えて関連大学以外の医師派遣事業等についても積極的にアプローチしています。
資料11ページに令和元年度の医師数が5人増え、それ以降割と多い人数になっているが、この時期に何かあったのでしょうか。	1、2年時の初期医師研修医の数がフルマッチングになったため、この時期の医師数が多くなっています。
臨床研修医が増えた年があったが、それ以降維持しているという状況なのではないでしょうか。	平成31年以降は毎年10名以上の初期研修医を確保しております。
今回は麻酔科で寄附講座を開設したが、他の診療科で寄附講座を開設する考えはありますか。	例えば産婦人科で寄附講座を開設したくても、大学で派遣医師が少ないといったことが考えられるので、大学との調整が必要になります。

令和5年度第2回十和田市外部評価委員会 当日質疑等一覧表

④空き家の利活用促進

質問事項等	回答
空き家の成約率を上げるために、空き家を購入、または移住して住みたいという方に対して、定住支援事業と連携していますか。	移住については、政策財政課が窓口となっており、内容を確認し、必要に応じて担当課へ案内するなど、横の連携をとりながら取組を進めています。
資料7ページで宅建業者に仲介を受け入れてもらえなかった理由は。	宅建業者の報酬は、売買成約した金額の〇%と割合が決まっており、成約の難しそうな物件の取扱いは断る場合があると聞いています。
空き家バンク制度の利用以外でも購入されている例はありますか。	把握はしていませんが、基本的に市を介さずに不動産会社とやりとりしているケースが多いと考えられます。
資料9ページの「市外に居住していて手続きが面倒」というのは、単に距離の問題なのか、市内居住者でないと手続き上できないという要件はありますか。	空き家バンクへの登録は市外からでも可能ですが、遠方で直接行けないといった方が多い状況です。
市外居住者は紙媒体のパンフレットを中々見ることができないという部分も影響していますか。	苦情のある空き家に関しては、所有者にパンフレットを送付しています。
空き家バンクの対象とならない場合は何らかの形で処分してもらえないのでしょうか。	市では空家等解体撤去費補助金を用意しており、パンフレットを送付しています。
自宅が空き家になった場合、改修等に係る補助金はありますか。	十和田市住宅省エネ改修推進事業を実施しています。
空き家の購入希望者が目途とする住宅価格は。	場所や建築年度等によって価格が異なるため、一概に価格を答えることはできません。
資料4ページの空き家等の件数について、各地区の割合は。	平成30年度のデータでは、三本木地区が約5.1%、大深内地区が約6.6%、藤坂地区が約6.7%、四和地区が約14.6%、十和田湖地区が約7.6%となっています。
資料4ページの危険度ランクについて、ランクC（56件）は倒壊のおそれがあり、町内会を維持するうえで重要な問題であり、本格的に議論した方がよいのではないのでしょうか。	所有者がいる空き家に対しては、通知を出しています。なお、相続する方がいない物件に関しては、方策を考えていく必要があります。
空家等解体撤去費補助金の活用の状況は。	<p>令和5年度は10件程度の相談がよせられています。（8月23日現在）</p> <p>【補足説明】（8月末日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用相談 16件 （うち補助対象となる家屋件数 10件） ・交付決定 3件

令和5年度第2回十和田市外部評価委員会 当日質疑等一覧表

⑤デジタル化推進事業

質問事項等	回答
<p>書かない窓口のゴールのイメージとして、家にいても手続きができるというものか、それとも、来庁したときの時間短縮、手間削減なのですか。</p>	<p>市役所に来た場合、少しでも申請書類を書かなくてもいい、他の部署をあまり回らなくてもいいようにするという部分に注目し、現在検討を進めています。 他の自治体では書かない窓口の他に、来させない窓口も検討されているので、参考にしたいと考えています。</p>
<p>デジタル地域通貨活用事業について、詳しく教えてほしい。</p>	<p>デジタル地域通貨は、その地域の中で完結する、お金に代わるもので、全国的に取り組みられています。ただし、他自治体の例を見ると、良い所ばかりではなく、通貨を取扱う事業者の募集や、システムを導入するための経費、地元の商工団体との協議を要するなどの課題があげられています。</p>
<p>LINE公式アカウントを開設するということが、駒らん情報メールはどのようにする予定ですか。</p>	<p>駒らんメールで情報発信したものがLINEでも連携して流れる仕組みになっているので、1回の送信行為で駒らんメールとLINEの両方で発信されます。</p>
<p>駒らんメールとLINEを一本に統一しないのですか。</p>	<p>将来的にはLINEの活用を主として使っていただきたいと考えており、一本化を視野に入れて運用を考えてまいります。</p>
<p>YouTube公式チャンネルについて、市の魅力ある部分を海外へ発信するという点でインバウンド対策に大きな効果が得られると思うが、そのような取組や考え等があれば、教えてほしい。</p>	<p>他自治体では、様々な観光情報やイベント情報等をYouTubeで発信しているのが見受けられるので、当市も最終的には目指したいと考えています。まずは、市が実施している様々な事業をスライド形式で作成し、それを動画にしたいと考えています。</p>
<p>YouTubeのコンテンツは、絶えず注目を集めるために更新していかなければならないと思いますが、更新していくやり方というのは、事業内で検討していますか。</p>	<p>これまではコンテンツの見直しは行っていませんでしたので、定期的に見直し、タイムリーな話題の提供に努めたいと考えています。</p>

<p>例えばマイナンバーカードによる書かない窓口体制なども業務改善の一つと考えてよいか。</p>	<p>マイナンバーカードを持っていることによって、カードに入っている情報を紙の方へ自動的に印字できるようになるので、最優先に取り組みたいと考えています。</p>
<p>市のホームページを更新する予定は。</p>	<p>令和2年度にホームページを更新しましたが、依然として情報に到達しにくい・見にくいといったご指摘をいただいているので、改善に向けた検討を行います。</p>
<p>今年度にかけて予算規模が増えたが、予算が不足したことによりできなかったものがあれば教えてほしい。</p>	<p>実状に照らし合わせて、どのような効果が出せるのかを精査したうえで、システムの導入等を行うことが重要であると考えております。</p>